令和４年度第１回千葉市こども未来局指定管理者選定評価委員会議事録

１　日　時　　令和４年８月１日（月）１０時００分～１２時００分

２　会　場　　千葉市中央コミュニティセンター　９階　９３会議室

３　出席者

（１）委　員　田村委員、江波戸委員、末永委員、福澤委員

（２）事務局　石野こども未来部長、宮葉こども企画課長、石田健全育成課長
　　枡見幼保支援課長

４　議　題

（１）千葉市子ども交流館　施設管理に係る年度評価について

（２）千葉市子育て支援館　施設管理に係る年度評価について

（３）千葉市少年自然の家　施設管理に係る年度評価について

５　報告事項

（１）今後のスケジュールについて

６　議事の概要

（１）議題

ア　千葉市子ども交流館　施設管理に係る年度評価について

令和３年度「指定管理者年度評価シート」について施設所管課から説明の後、意見交換を経て、委員会としての意見を取りまとめ、決定した。

イ　千葉市子育て支援館　施設管理に係る年度評価について

令和３年度「指定管理者年度評価シート」について施設所管課から説明の後、意見交換を経て、委員会としての意見を取りまとめ、決定した。

ウ　千葉市少年自然の家　施設管理に係る年度評価について

令和３年度「指定管理者年度評価シート」について施設所管課から説明の後、意見交換を経て、委員会としての意見を取りまとめ、決定した。

（２）報告事項

ア　今後のスケジュールについて

事務局より、議事録、評価シートの公表及び今後の会議開催、委員の改選について説明を行った。

７　会議経過

○事務局　皆様、本日はお忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、これより令和４年度第１回千葉市こども未来局指定管理者選定評価委員会を開催させていただきます。

私は、本日の司会進行を務めさせていただきます、こども企画課の安藤と申します。どうぞよろしくお願いします。

本日は、半数以上の委員の御出席がありますので、「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例」第10条第２項の規定により、会議が成立しておりますことを御報告いたします。

また、会議の公開及び議事録の作成についてですが、机上に配付してあります追加資料「千葉市こども未来局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について」を御覧ください。会議の公開及び議事録の作成等について、平成22年に本委員会で議決した事項でございます。本日の会議は、（１）ただし書に該当しませんので、公開で実施することといたします。なお、現在は傍聴人の方はいらしておりません。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。本日、机上には、次第、席次表をお配りしております。また、事前に青いファイルの配付資料と緑色のファイルの参考資料をお渡しさせていただいております。

資料につきまして過不足等ございましたら、事務局までお申しつけください。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、適宜窓開け等による換気をさせていただきますので、御了承いただきますようお願いいたします。

それでは、開会に当たりまして、こども未来局こども未来部長の石野より御挨拶を申し上げます。

○石野こども未来部長　こども未来部長の石野でございます。

本日は、大変お忙しい中御出席いただき、誠にありがとうございます。

委員の皆様におかれましては、本委員会のみならず、日頃より市政各般にわたりまして多大なる御支援、御協力をいただいておりますこと、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

皆様御案内のとおりかと思いますが、さきの通常国会におきまして、こども基本法が成立いたしまして、子どもに係る施策の総合的な推進といったものが求められておるところでございます。子どもや子育てに関する施設の在り方につきましても、ますます注目されるものと考えるところでございます。

本日、委員会におきましては、こども未来局所管の子ども交流館、子育て支援館、少年自然の家の３施設の年度評価について御審議をお願いいたします。昨年度につきましては新型コロナウイルス感染症の流行が続く中の管理運営となりましたけれども、委員の皆様におかれましては、それぞれ御専門のお立場から忌憚のない御意見をいただければと思います。

簡単ではございますけれども、私の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○事務局　以後の議事進行につきましては、田村会長にお願いしたいと存じます。それでは、田村会長、よろしくお願いいたします。

○田村会長　改めまして、よろしくお願いいたします。

それでは、議題（１）以降の各施設の評価に入らせていただきます。議題（１）「千葉市子ども交流館　施設管理に係る年度評価について」、事務局より説明をお願いいたします。

○宮葉こども企画課長　こども企画課の宮葉でございます。どうぞよろしくお願いいたします。恐れ入りますが、座って御説明させていただきます。

子ども交流館の年度評価シートの説明の前に、こちらの青いファイルの配付資料の全体につきまして簡単に御説明させていただきます。

まず、資料１－１ですけれども、こちらは指定管理施設の概要となってございます。

次に、資料１－２ですが、こちらが令和３年度の評価シートでございまして、詳細につきまして後ほど御説明させていただきます。

次に、資料１－３でございますけれども、こちらは年度評価シートにおける管理運営の履行状況を評価する際に目安とする算出表でございます。年に２回実施したモニタリングレポートの結果を基に、一番右の欄の市の評価を決定しております。

次に、資料１－４ですが、こちらが今申し上げました２回分のモニタリングレポートでございます。

次に、資料１－５ですが、こちらは年度開始前に指定管理者が作成した令和３年度の事業計画書でございます。

次に、資料１－６ですが、こちらは年度終了後に指定管理者が作成した事業報告書となってございます。

次に、資料１－７でございますが、こちらは指定管理者の財務関係書類でございます。ここまでは、子育て支援館関係の資料２、少年自然の家関係の資料３についても基本的に同様の内容となっております。

最後に、資料４－１ですが、こちらは年度評価シートにおける総括評価を決定する際に目安とする基準を示したものでございます。

それでは、ここから子ども交流館の指定管理者年度評価シートにつきまして御説明をさせていただきます。

配付資料の１－２を御覧ください。まず、「１　公の施設の基本情報」でございます。施設名称は「千葉市子ども交流館」、条例上の設置目的は「子どもの健全な育成と交流を図る」としております。

次に、「２　指定管理者の基本情報」でございます。指定管理者は千葉ミライ子どもプロジェクト事業体で、代表団体はアクティオ株式会社、構成団体はテルウェル東日本株式会社でございます。指定期間は平成29年４月１日から令和４年３月31日までとなっておりまして、今回は指定期間最後となる５回目の年度評価となります。

次に、「３　管理運営の成果・実績」でございます。（１）成果指標に係る数値目標の達成状況の「来館者数」につきましては、指定管理者の設定した令和３年度の数値目標15万8,361人に対しまして、実績は５万1,329人で、達成率は32.4％となっております。右下の参考表に記載しておりますが、前年度と比較すると２万6,697人の増で、コロナ禍が継続する中、回復傾向にはあるものの、目標を達成することはできません

でした。

その下の「新規登録者数」につきましては、指定管理者の設定した令和３年度の数値目標１万5,638人に対しまして、実績は4,445人で、達成率は28.4％となっております。こちらに関しましても、右下の参考表のとおり、前年度と比較して2,525人の増で回復傾向にはありますが、来館者数と同様に、目標を達成することはできませんでした。

なお、市の設定した数値目標とそれに対する達成率につきましては、それぞれ下段に括弧書きで記載しております。市の設定した数値目標はいずれも５年累計でございますが、年平均で算出いたしますと、来館者数は数値目標13万7,800人に対し、達成率は37.2％、新規登録者数は数値目標１万4,800人に対し、達成率は30.0％となっております。

次に、（２）その他利用状況を示す指標でございます。これは指定管理者が独自に設定した数値目標でございますが、子ども交流館の認知度の向上と新規登録者数の増を目的といたしまして、令和３年度は出張講座を10回実施することとしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で受入先がほとんどなく、実施回数は２回で、目標を上回ることはできませんでした。

続きまして、「４　収支状況」でございます。まず３ページを御覧ください。

一番下の（３）収支状況でございますが、事業を大きく指定管理の委託業務としての必須業務と自主事業の２つに分けた後、それぞれの収支を合算した総収入と総支出を記載しております。必須業務の収支は122万2,000円の黒字、自主事業の収支は３万9,000円の赤字となり、総収支といたしましては118万3,000円の黒字となりました。

それでは、必須業務から詳細を御説明いたします。恐れ入りますが２ページにお戻りください。

（１）必須業務収支状況の「ア　収入」を御覧ください。指定管理料とその他収入の合計額は9,963万1,000円の年度計画に対しまして、9,957万円の実績となりました。計画と実績の差異の主な要因といたしましては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止したイベントの参加費収入の減によるものでございます。

続きまして、「イ　支出」を御覧ください。まずは人件費でございますが、年度計画と実績の差異は80万3,000円の増となっております。主な要因といたしましては、昇給による人件費の増によるものでございます。

次に、事務費でございますが、年度計画と実績の差異は249万4,000円の減となっております。主な要因といたしましては、新型コロナウイルス感染症の影響による事業費や光熱水費の減によるものでございます。

次に、管理費でございますが、年度計画と実績の差異は１万4,000円の減となっております。なお、計画上の管理費は全て備品購入費に当たります。

次に、委託費でございますが、年度計画と実績の差異は42万2,000円の増となっております。主な要因といたしましては、利用者パソコン等の保守業務を専門業者に委託したことに伴う増によるものでございます。

次に、間接費でございますが、年度計画、実績ともに821万4,000円となっておりま

す。

最後に、支出の合計でございますが、年度計画の9,963万1,000円に対しまして、実績が9,834万8,000円で、年度計画と実績の差異は128万3,000円の減となっております。

続きまして、３ページを御覧ください。

一番上の間接費の配賦基準・算定根拠でございます。指定管理事業の実施に当たっては現場と本社が一体となって業務を遂行しており、本社では、人事労務、事務・経理、施設担当社員の配置などの現場管理を行っております。これらの現場管理にかかる経費は本社における営業費に該当し、代表団体における直近３か年の売上高に対する営業費の平均比率は約11.3％となっております。

指定管理事業の本社費の算定に当たりましては、本社管理経費を除く支出総額に対しまして本社の営業費比率の実績を基に11.3％相当を計上したい意向があるようでございますが、子ども交流館におきましては、過去に赤字決算が続いていたこともあり、当施設の運営を安定させるため、その比率を約８％まで引き下げ、計上している状況でございます。

次に、（２）自主事業収支状況でございます。自主事業は、必須業務には含まれていないものの、指定管理者が施設の設置目的を果たすために必要であると考えた事業を実施するものでございまして、乳幼児向けのプログラムやキッズ・ダンススクール、中高生を対象としたミュージックレッスンなどを開催しております。自主事業の実績につきましては、収入が65万2,000円、支出が69万1,000円で、３万9,000円の赤字となっております。

収支の詳細につきましては、以上でございます。

続きまして、４ページをお願いいたします。「５　管理運営状況の評価」でございます。

１ページ目で説明いたしましたとおり、「来館者数」につきましては、市の設定した数値目標に対する達成率が37.2％ではあったのですが、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、適正な評価が不可能であるため、昨年度と同様に評価の対象外としております。同様に、「新規登録者数」につきましても、市の設定した数値目標に対する達成率が30.0％となったものの、適正な評価が困難であるため、昨年度と同様に評価の対象外としております。

次に、（２）市の施設管理費経費縮減への寄与でございます。こちらは選定時の提案額に対する指定管理費実績額の削減率を評価するものでございますが、提案額と実績額が同額でございましたので、削減率０％で、Ｃ評価としております。

次に、（３）管理運営の履行状況でございます。各項目につきまして、指定管理者による自己評価と市の評価を記載しておりますが、市の評価につきましては、資料１－４のモニタリングレポートの結果を資料１－３の算出表に当てはめ、評価区分を決定しております。ここでは自己評価と市の評価が異なる項目につきまして簡単に御説明させていただきます。

５ページを御覧ください。（４）施設の事業の効果的な実施のうち、「①子どもの健

全な遊びと居場所の提供」から「④子どもの遊びと居場所づくりに関する情報の収集及び提供」までございますが、自己評価はＣとなっておりますが、市の評価につきましては、新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、飛沫防止シートの準備や消毒等を行ったこと、安全性の観点から定員数を削減、制限しつつ講座の開催に努めたこと、来館を控えている市民向けにユーチューブで動画をアップロードしたことなどから、Ｂ評価としております。

続きまして、一番下の（４）こども未来局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応でございます。昨年度の選定評価委員会でいただきました御意見に対する対応、改善の内容を記載しております。

１点目の「動画コンテンツ等の新しい取組みについては評価できるが、利用状況を把握し、コロナ禍でどのような対応が可能か検討されたい。」につきましては、外出を控えている市民等に向けてユーチューブ動画の配信を継続して行いましたが、出張講座につきましては、コロナ禍が続き、受入先が少なく、２回のみの実施にとどまりましたので、引き続きより効果的な取組について検討してまいります。

２点目の「感染症対策について、引き続き十分に配慮したうえで、事業を実施されたい。」につきましては、市と指定管理者が情報を共有し、安全への配慮と利用者数の増加を両立できるように、入館者数を適宜調整いたしました。また、サーキュレーター等の使用による換気及び消毒を徹底した上で講座やイベントについて安全を確保できる定員数を設定いたしました。そのほかに、連休など混雑が見込まれる時期や入場制限を行っている場合は、ホームページやツイッターで周知し、混雑の緩和と利便性の向上に努めました。

管理運営状況の評価につきましては、以上でございます。

続きまして、６ページをお願いいたします。「６　利用者ニーズ満足度等の把握」の（１）指定管理者が行ったアンケート調査でございます。子ども交流館におきましては、受付ロビーに常時設置している利用者アンケートに加えまして、児童福祉週間や子育てふれ愛フェスタ開催時の年２回に特別なアンケートを実施し、計230件の御意見をいただいております。

幾つか御紹介いたしますと、（１）利用者アンケートでは、小学１年生や未就学児と思われる子どもから「楽しかった」などの感想が寄せられております。また、（２）特別アンケートでは、プログラムごとの評価について、児童福祉週間のアンケートでは、５段階評価で星４つ以上をつけた方が全体の97％を占めており、子育てふれ愛フェスタにおいても３段階評価で星３つをつけた方が全体の80％を占めるなど、多くの方から好評価をいただきました。また、新型コロナウイルス感染症対策につきましても、「よくやっている」との回答が全体の約92％となっており、おおむね高い評価をいただいておると認識しております。そのほか（３）アンケート以外の利用者意見では、口頭で、子ども食堂の取組に対する感謝の言葉をいただいております。

次に、（２）市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応でございます。２歳の子どもがマスクを着用していないことを理由にプレイルームの利用ができなかった保護者より、３歳からの適用とするなどマスク着用ルールの見直しに関する要望を

お手紙にて受理いたしました。指定管理者からは、マスク着用ルールに関する説明が不十分だった点について反省し、分かりやすい周知方法について検討を行うこと、また、マスク着用に関するルールについては、県内保育所でのクラスター発生等もあることから、現状での対応を継続することなどを回答し、御理解を求めました。

続きまして、７ページを御覧ください。最後に「７　総括」でございます。

まず、（１）指定管理者による自己評価でございますが、Ｃ評価としております。指定管理者の所見といたしましては、来館者数及び新規登録者数については、コロナ禍以前の平成30年度と比較すると、いずれもおおむね３分の１程度に減少しておりますが、昨年度との比較ではいずれも倍以上に増加している、コロナ禍により、出張講座が実施できる子ども交流館の周知啓発や新規登録者数の開拓が困難だったこと、市中の感染状況に応じて市と連携し、人数、時間、施設の制限を行ったが、ホームページやツイッター、チラシなどで事前に広報を行い、大きな混乱がなかったなどでございます。

次に、（２）市による評価でございます。４ページ、５ページの「５　管理運営状況の評価」の各項目の市の評価における評価の割合により、総括評価の目安とすることとしております。子ども交流館におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた成果指標に関する評価項目を除いた８項目中、Ｂ評価が１項目、Ｃ評価が７項目でございました。これは、総括評価の目安におきまして「評価項目のＤが20％以下、かつ評価項目にＥがない」に該当いたしますので、Ｃ評価といたしております。

市の所見といたしましては、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、利用者の安全を確保しながらイベント開催に取り組むなど、良好な管理運営が行われている、また、入館者数の制限や講座の定員数の設定など、新型コロナウイルス感染症の状況に合わせて臨機応変な施設管理を実施し、利用者の増に努めたなどでございます。

なお、この方法により算出した評価につきましては、あくまでも目安でございます。総合的に判断して異なる評価をすることや、選定評価委員会の御意見を踏まえて評価を修正することも可能となっております。

子ども交流館の指定管理者年度評価シートの説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○田村会長　ありがとうございました。

ただいまの事務局からの説明につきまして、御質問等がございましたら御発言願います。いかがでしょうか。

福澤委員、財務諸表についてもし御意見がありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

○福澤委員　今の御説明に関してという意味でしょうか。別添でついていたものですか。

○田村会長　両者、もしございましたらよろしくお願いいたします。

○福澤委員　では、今の御説明いただいた部分に関して、若干御質問させていただければと思うのですが、コロナについては、いわゆるコロナの感染が始まってから大分時間がたちましたけれども、その感染予防のための支出みたいなものも大分必要なもの

とかがそろってきていて、新たに何か買い足さなければいけない、そういう意味での支出増みたいなものは、この評価年度に関してはそんなに大きなものはなかったという理解でよろしいでしょうか。

○宮葉こども企画課長　ありがとうございます。コロナが流行しだしたときに、ウオークスル―型の体温検知器ですとか、消毒液とか、様々な感染防止対策の備品等を購入して配布してございます。そのほかにも適宜感染対策に必要な物品については指定管理料の中で、指定管理者が用意するとともに、それ以外に必要なものにつきましては、適宜市のほうに御相談をいただいておりまして、協議しながら対応をしているところでございます。

以上でございます。

○田村会長　ほかにはいかがでしょうか。

末永委員、ありましたらお願いいたします。

○末永委員　今言った資料１のほうでしょうか、自主事業経費見積書、これを見たところ、これはよかったなと思っておるんですけれども、１つのジャンルに偏らないで、多様な内容になっていてよいなというふうに思いました。

それから、下から３番目になるんでしょうか、地域連携・街おこし事業／「ちばっこ音まち」というもの、収入支出を見てこれだけ赤字になっているわけですけれども、これは街おこしとして必要かと思いますのでよろしいかなと思います。１－５の最後ですね。

それから、１－６の11ページ、令和３年度新規バンド登録数とありまして、４月、５月、６月とあるんですけれども、３月が１件ということで、ちょっと少ないかなと思って、増やしたいなとかあるといいなと思いまして、そういう工夫をしていただければなというふうに思いました。

それから31ページ、その他の事件とか事故とか不審者対応ということで、これを読むといろいろなことが起きているなと思いましたけれども、その都度適切な対応をされていてよろしいかなというふうに思いました。

資料の終わりのほう、Ｑ４、Ｑ５の後、円グラフがついているところのちょっと前ですけれども、どこが使っているか、小学校50校で使っているというデータが出ておりまして、千葉市内で本町小学校はじめ幾つか出ています。それからその下の段に、３行目からは、千葉市外も幾つか出ていまして、これもありまして、これが増やせればいいかなというふうに思いました。千葉市はいっぱい小学校があるけれどもこれだけなので、もうちょっと増やせればなとちょっと思いました。

それから、高校のところなんですけれども、千葉市に県立高校、私立高校、いっぱいあると思うんですけれども、千葉高校だけということで、これも何とか増やしていただけたらいいかなというふうに思いました。

以上でございます。

○田村会長　ありがとうございます。バンドとかは確かに中高生とかの利用が増やせればいいですけれども、なかなかコロナの感染というところの制限があって動けない中高生も多かったかなというふうに思います。その中でもさっきの危機対応とか、そう

いうので学校に行けない子どもとか、そういったことにも丁寧に対応をいただいているかなというふうに、その報告もあるので、そういう点については臨機応変に対応してきているかなというふうに思いました。ありがとうございます。

江波戸委員、ありますか。お願いいたします。

○江波戸委員　江波戸です。資料１－２、６ページ、利用者ニーズ・満足度等の把握とあります。この中では、保護者の立場からすると、子どもたちの利用者アンケート、「楽しかったけれどももう少し遊びたかった」、「ありがとうございました」、「面白かった」、「とにかくこの施設を使ってもっと遊びたかった」、そういった子どもたちの声があるということは大変うれしいと思います。

それから、各行事のアンケートを見ても、大分皆さん評価が高いので、このまま頑張って、コロナ禍で難しい中一生懸命やっていただいているのが分かりますし、何よりお子さん、保護者は楽しく過ごせていることが分かって、これからも頑張っていただきたいなと思いました。ありがとうございます。

○田村会長　ありがとうございます。おおむね良好な運営をされているということでよろしいでしょうか。

最後に、財務諸表の関係でございましたら、福澤委員のほうからお願いいたします。

○福澤委員　資料１－７で見せていただいた決算書類等を拝見しましたけれども、特段問題視すべき事項は見当たりませんでした。

○田村会長　ありがとうございました。ほかによろしいでしょうか。

それでは、ここまでの議論を踏まえまして、資料１－２の７ページ、「７（３）委員会の意見」欄について、委員会としての意見を整理させていただきます。

皆様から御意見をいただきましたが、その中でも基本的には市の評価のとおりおおむね良好な管理運営が行われていることが認められるということですね。もう一つは、感染症の拡大防止対策ということについても引き続き十分配慮をしながら、子どもたち、そして御利用者の皆様をより広げていって納得していただけるような利用ができるような丁寧な対応を図ってほしいというような形での話、財務諸表についても問題はないということでまとめさせていただきたいと思います。いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、ただいま整理しました事項を委員会としての意見とさせていただきます。よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○田村会長　ありがとうございます。

それでは、議題（１）「千葉市子ども交流館　施設管理に係る年度評価について」の委員会としての意見は、ただいま整理した内容を基本とし、詳細については私と事務局にて調整するということで御了承をいただければと思います。

（「異議なし」の声あり）

○田村会長　ありがとうございました。

それでは、次に、議題（２）「千葉市子育て支援館　施設管理に係る年度評価について」に入らせていただきます。事務局より説明をお願いいたします。

○枡見幼保支援課長　幼保支援課の枡見でございます。よろしくお願いいたします。座って説明させていただきます。

それでは、子育て支援館の年度評価を説明させていただきます。配付資料２－２の指定管理者年度評価シートを御覧いただきたいと思います。

まず、「１　公の施設の基本情報」ですが、施設名称は、「千葉市子育て支援館」。条例上の設置目的は、「乳幼児の健やかな育成を図るとともに、子育て家庭を支援するため」としております。

次に、「２　指定管理者の基本情報」でございますが、指定管理者は公益社団法人千葉市民間保育園協議会、指定期間は平成29年４月１日から令和４年３月31日まででございます。今回は３期目の最終年度評価となっております。

次に、「３　管理運営の成果・実績」でございますが、（１）成果指標に係る数値目標の達成状況の１つ目、「施設利用者数」につきましては、数値目標の７万8,000人に対しまして、令和３年度は２万3,572人で、達成率は30％となっております。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和２年度に引き続き利用時間、利用人数を制限して開館をしていたということがございます。

次の、「利用者アンケートにおける利用者満足度」につきましては、数値目標の75％を超える84.8％となり、高い水準となっております。

次の「ファミリー・サポート・センター会員数」につきましては、数値目標250人増に対しまして、294人減となり、達成率は０％となっております。令和２年度と同様、新型コロナウイルスの影響で在宅勤務の方が増えたり、帰宅時間が早くなったりなどで、保育園や幼稚園への送り迎えや、帰宅後の預かりなどの活動が令和元年度以前より少なくなっていることから、依頼会員の増加に至らなかったものと考えております。また、提供会員につきましては、例年、活動継続の意思確認をしておりますが、御自身が高齢であったり、御家族や御自身の体調の問題や介護などで活動が難しいなどで、これまでも一定数の方が退会しておりましたが、今年度は特にコロナなどの影響もありまして退会を決めた方が例年より多くいらっしゃったと考えております。

次に、（２）その他の利用状況を示す指標の「相談件数」につきましては、令和２年度が1,653件に対しまして、令和３年度は1,821件とやや増加しております。

次の、「ファミリー・サポート・センター事業の活動件数」は、令和２年度が5,202件、令和３年度が5,143件と、ほぼ横ばいとなっております。

２ページを御覧ください。

続きまして、「４　収支状況」でございます。（１）必須業務収支状況の「ア　収入」でございますが、一番下の合計欄、6,627万7,000円で、計画より若干多い実績となっております。これは新型コロナウイルス感染防止のための物品の購入等にかかる市からの補助金があったためでございます。

次の、「イ　支出」につきましては、計画額よりも84万9,000円多くなっております。こちらについては、主な要因としては、人件費のところで相談対応のため臨床発達心理士の出勤日数を増やしたこと、その他事業のところでコロナ対策などの物品の購入を行ったことによるものでございます。

３ページを御覧ください。

次に、（２）自主事業収支状況でございますが、自主事業の収入支出の実績ともに９万1,000円でございます。

次に、（３）収支状況でございますが、必須事業、自主事業を合わせた収支は69万6,000円の赤字となっております。

続きまして、「５　管理運営状況の評価」でございます。（１）管理運営による成果・実績のうち、「施設利用者数」と３つ目の「ファミリー・サポート・センター会員数」につきましては、新型コロナの影響で適正な評価が困難であることから、評価の対象外としております。

真ん中の「利用者アンケートにおける利用者満足度」は、達成率が113％で、Ｂ評価といたしております。

４ページを御覧ください。

次に、（２）市の施設管理経費削減への寄与につきましては、市の指定管理料支出の削減を評価項目としておりますが、市の指定管理の実績と選定時の提案額が同額であることから、Ｃ評価としております。

次に、（３）管理運営の履行状況でございます。子ども交流館と同様、市の評価については、配付資料２－４のモニタリングレポートの結果を資料２－３の算出表に当てはめ、評価区分を決定しております。市の評価、指定管理者の評価ともに、昨年度に引き続き、全てＣ評価となっております。

続きまして、５ページの（４）こども未来局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応についてですが、昨年度３つの御意見をいただきました。まず、「利用者のニーズを踏まえ、利用者アンケートやファミリー・サポート・センター事業などにおいてオンラインの活用により一層努められたい。」という御意見に対しましては、新型コロナの感染状況から、講座等をオンラインで開催しております。なお、オンライン開催時にはアンケートもオンラインで回答できるよう取組を開始しましたが、オンラインですと回答率が下がるため、回答をいただけるような取組を検討しております。また、ファミリー・サポート・センター事業におきましては、サブリーダー会議をオンラインで開催しました。なお、令和４年度からの第４期指定管理におきましては、オンラインでの取組を拡充することとしております。

次に、「多様な子育て家庭への支援の一環としてファミリー・サポート・センター会員数の増加に努められたい。」につきましては、ファミリー・サポート・センターではボランティア講習会でのＰＲや、会員に友人を紹介してもらうなどの協力をお願いしながら会員増に取り組みました。引き続き会員増の取組を進めてまいります。

最後に、「感染症対策について引き続き十分に配慮した上で事業を実施されたい。」という御意見につきましては、感染予防に関するディスカッションを行いまして、職

員の意識向上に努めたり、消毒の徹底や来館者にも入退館時の手洗い、検温やマスク着用、人との距離を保つことに気をつけるなどの様々な感染対策を行いながら運営を継続してまいりました。

６ページをお開きください。「６　利用者ニーズ・満足等の把握」につきましては、指定管理者が初めて来館する方向けに配布している、はじめましてアンケート、２つ目に、リピーターの来館者に配布する支援館アンケート、３つ目に、ひろば・イベントに参加した方向けのアンケート、４つ目に、館内に設置した御意見ポストに投函いただくもの、それから、利用者支援事業のアンケート、この５つを実施しておりまして、回答者数は合計で1,547件でございました。

中段の２の（３）スタッフの対応等についてですが、５段階評価のうち、「大変よい」と「よい」で回答をいただいたものは受付でのスタッフの対応が97.2％、オンラインでのスタッフの対応が95.9％と、スタッフに気軽に相談しやすい雰囲気につきましても94.3％となっておりまして、３項目とも引き続き高水準を維持しております。

（４）の目的に対する満足度につきましても、比較的高い満足度となっております。親同士で情報交換や話ができる場所につきましては、昨年度の62％から70％と満足度が高まっておりまして、昨年度はコロナの影響で他の利用者と会話をすることが難しかったのですが、少しずつですが会話ができるような雰囲気になってきたために満足度が高まったものと考えております。

その他につきましては、記載のとおりでございます。

一番下の（２）市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情の対応につきましては、御覧のとおりでございます。

７ページを御覧ください。最後に、「７　総括」となります。

まず、（１）指定管理者による自己評価ですが、感染予防対策を徹底し運営する中、人数制限や講座・イベントの内容を吟味し、利用方法を選択することができるよう、必要に応じてオンラインで開催をいたしました。コロナ禍の中、各関係機関との会議や研修をリモートで実施し、基幹施設として支援の質の向上に取り組みました。支援館のホームページやＳＮＳで利用情報や感染対策について情報発信を増やした結果、ツイッターのフォロワー数が1,000人を超え、広報につながりました。このようなことから、千葉市の子育て支援施設の拠点として十分職責を果たしているとして、Ｃ評価となっております。

次に、（２）市による評価でございますが、先ほどの子ども交流館と同様に、「５　管理運営状況の評価」の各項目の市の評価における評価の割合により、総括評価の目安とすることとしております。「５　管理運営状況の評価」における各項目は、Ｃ評価となっておりますので、総括評価の基準Ｃは、「評価項目のＤが20％以下、かつ評価項目にＥがない」ことから、市の評価はＣとさせていただいております。

次に、所見でございます。

来館者数につきましては、計画の目標数値７万8,000人を下回りましたが、新型コロナ感染拡大防止のために、利用人数、利用時間を制限しながらの開館となりまして、おおむね利用制限の上限の人数まで利用があったことなどを考慮しますと、子育て支

援拠点施設として一定の機能を果たしていると評価しております。

利用者アンケート結果からは、引き続き高い満足度を得ており、この点については大変評価をしております。

また、地域子育て支援拠点の基幹施設として他の拠点施設の統計の取りまとめ、翌月に実施する講座の情報収集、ホームページ、ツイッターでの情報発信のほか、リモート会議の開催や研修会を開催する中で、他の施設職員に対して適切なアドバイスを行うなど、基幹施設としての役割を十分果たしております。

また、ファミリー・サポート・センター事業につきましては、新型コロナの影響等があったことから、会員数が前年度より減少しましたが、令和４年度からの第４期指定管理におきましては提供会員増を成果指標としておりまして、新規会員増加に向けた取組強化を求めてまいります。

全体としては、新型コロナウイルスの影響はありますが、人数制限や消毒など感染症対策を実施しつつ、オンラインによる取組やＳＮＳによる情報発信を充実させるなど、良好な管理ができていると考えられることから、Ｃ評価としております。

子育て支援館の指定管理者年度評価シートの説明は以上でございます。

○田村会長　ありがとうございました。

ただいまの事務局からの説明につきまして、御質問等ございましたら御発言願います。いかがでしょうか。

末永委員、お願いいたします。

○末永委員　資料２－５です。まず、はじめましてアンケート年間集計結果の９ページ、下から４行目のところに、駐車場を無料にしてほしいというアンケート結果がありまして、しようがないなとは思うんですけれども、小さい子を連れてくる施設なので、ほかの施設とちょっと違う性格がありまして、無料にできないにしても、何かしら配慮できたらなというふうに思いました。

それから、ちょっと戻りまして、年間集計結果で、どこを何回ぐらい使ったかという表が４ページ、５ページにございます。４ページの２の（１）のプレイホール、それから２の（３）の絵本コーナー、これは非常に人気が高いことが分かります。それから、創作コーナーですね。これはちょっと少ないのかなというふうに読み取ったのですけれども、それでよろしいのかな。④が「ほとんど利用したことがない」ですので、それが101で、多いですね。ものづくり、少し子どもたちにもやってほしいなと思うので、何かしら工夫をされて、創作コーナーが少し伸びるようにしていただけるといいなというふうに思いました。

あとはその前に戻って、こういう事業をやりましたというのを見てみると、非常にたくさん、多様なことをやっておりますので、頑張って運営しているなというのが分かりました。私のほうとしてはＣの評価で妥当だというふうに考えます。

○田村会長　ありがとうございます。様々な事業を積極的にされているということで評価をいただいたかなというふうに思います。

そのほかに御意見がありましたらお願いいたします。江波戸委員から何かございますでしょうか。

○江波戸委員　子育て支援館のほうの感染症対策をしっかりしていただいているのはすごく分かりました。それから、講座をすごくやっているのだなと初めて知ったので、コロナ禍でありますが、今また増えてきていますけれども、子どもたち、お母さんたち、お父さんも、いろいろな講座等ありますので、参加していただけるように周知を頑張っていただいて、あとツイッターのフォロワー数が増えていたというのもとても興味深かったので、これもまた増えて、そこから情報を受け取っていただいて参加していただきたいなと思います。どうしてもいいところと悪いところと出てしまうので、悪いといったら何ですけれども、ちょっと頑張っていただきたい部分はこれからもしっかりと鋭意検討をしていただいて進めていただきたいと思います。

以上です。

○田村会長　ありがとうございます。この中の講座については、ちょっと先日お話をしたかと思うんですが、やはり今、コロナ禍で自宅にいることが多くてなかなか排せつ自立ができない子どもが増えているというのは保育園なんかでもよく聞くんですが、何かおむつの講座とかそういうのがあまりないなと思って。以前は結構積極的にやっておられたかなと思うんですけれども、今は保育園に通う子どもが多くなっているのでなくなっているのかなとは思うんですが、在宅でお子さんを見ている時間も長くなっていると思いますので、ぜひそういう講座もやっていただけたらうれしいなと。でも、おおむねとても良好な講座の内容になっているなというふうには考えております。積極的にやっていただきたいと思っています。

福澤委員のほうからもお願いいたします。

○福澤委員　今回、資料２－７のほうで添付いただいた財務資料につきまして、拝見しましたけれども、先ほどと同じですけれども、特段問題視すべき事項は見当たりませんでした。収支の中で結構コロナの対策費について言及していただいている部分があったと思うんですけれども、施設によって状況はいろいろ異なると思いますけれども、予算制約がある中ではありますが、必要な物品であるとかそういったものは適宜整備していただければなと思いましたので、引き続きよろしくお願いいたします。

○田村会長　ありがとうございました。

それでは、ここまでの議論を踏まえまして、資料２－２の７ページ、年度評価シートの「７（３）委員会の意見」欄について、委員会としての意見を整理させていただきます。

子どもに寄り添った施設ということで、子育て家庭に沿った様々な運営について御尽力をさらにいただきながら、市による評価のとおりおおむね良好な管理運営を行われているということで皆さんよろしいでしょうか。講座なんかもとても子育て家庭のニーズというのをしっかり受けた内容になっているということで、より一層オンラインなどを活用されて努めていただければというような御意見もあったかなと思います。財務関係に関しては、特段問題はないということでよろしいかなというふうに思います。このような形でまとめましたが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○田村会長　よろしいですか。それでは、ただいま整理した事項を委員会としての意見とさせていただきます。

それでは、議題（２）「千葉市子育て支援館　施設管理に係る年度評価について」の委員会としての意見は、ただいま整理した内容を基本とし、詳細については私と事務局にて調整をするということで御了承をいただければと思います。よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○田村会長　ありがとうございました。

それでは、次に、議題（３）「千葉市少年自然の家　施設管理に係る年度評価について」に入らせていただきます。事務局より説明をお願いします。

○石田健全育成課長　健全育成課の石田と申します。どうぞよろしくお願いします。恐れ入りますが、着座にて説明させていただきます。

それでは、千葉市少年自然の家指定管理者年度評価シートについて御説明させていただきます。資料３－２を御覧ください。

まず、「１　公の施設の基本情報」でございます。施設名は、「千葉市少年自然の家」。条例上の設置目的は、「自然環境における集団生活及び生活体験を通じて、少年の健全な育成を図るとともに、市民に自然の中での学習及び相互交流の場を提供する」としております。

次に、「２　指定管理者の基本情報」でございます。指定管理者は千葉ＹＭＣＡ・伊藤忠ＵＣグループ、代表団体は一般財団法人千葉ＹＭＣＡ、構成団体は伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社でございます。指定期間は令和２年４月１日から令和７年３月31日までとなっております。今回は指定管理期間中２回目の年度評価となりますのでよろしくお願いします。

次に、「３　管理運営の成果・実績」でございます。（１）成果指標に係る数値目標の達成状況の「施設利用者数（延べ数）」につきましては、指定管理者の設定した年間９万8,000人以上という数値目標に対しまして、実績は５万9,775人で、達成率は60.9％となっております。

施設利用者数は、感染症への不安から、家族、団体の利用が以前ほどは戻らなかったこと、感染症対策として各施設の人数制限を行っていることが影響しまして、目標を達成することができませんでした。

その下の「主催事業の実施数」につきましては、指定管理者の設定した年間70回以上という数値目標に対しまして、実績は74回で、達成率は105.7％となっております。新型コロナウイルスの影響下でありながら、感染症対策をしっかりと行うことや、藍染め体験など、人気のある事業の回数を増やすことで目標を達成することができました。

その下にあります「新規開発・改良を行った活動プログラム数」につきましては、

指定管理者の設定した年間20回以上という数値目標に対しまして、実績は27件、達成率は135.0％となっております。家族を対象としたプログラムを増やしたことや、昨年度整備した遊歩道を活用したプログラムに改善することで目標を達成することができました。

なお、市の設定した数値目標とそれに対する達成率につきましては、それぞれの下段に括弧書きで記載しております。「施設利用者数」は、数値目標年間９万人に対し、達成率は66.4％、「主催事業の実施数」は、数値目標年間20回に対しまして、達成率は370.0％、「新規開発・改良を行った活動プログラム数」は、数値目標年間10回以上に対し、達成率は270.0％となっております。

次に、（２）その他の利用状況を示す指標でございます。これは指定管理者が独自に設定した数値目標でございます。なお、５年間累計の施設利用者数の数値目標につきましては、最終年度に確認する指標となりますので、今回の確認からは除外させていただいております。「利用可能なプログラム数」は、年200件以上を提供することとしておりましたところ、実績は225件、「移動教室・農山村留学・日帰り利用等モデルプラン」は、年10件以上を提供するとしていましたところ、実績は15件で、いずれも目標を上回ることができました。

続きまして、「４　収支状況」でございます。まず、３ページを御覧ください。ページ中央にございます（３）収支状況でございますが、事業を大きく、指定管理の委託事業としての必須事業と自主事業の２つに分けた後、それぞれの収支を合算した総収入と総支出を記載しております。必須業務の収支は199万8,000円の黒字、自主事業の収支は７万7,000円の黒字となり、総収支といたしましては207万5,000円の黒字となりました。

それでは、必須業務から詳細を説明させていただきます。恐れ入りますが、２ページにお戻りください。

（１）必須業務収支状況の「ア　収入」を御覧ください。指定管理料、利用料金、その他収入の合計額は４億3,093万8,000円の年度計画に対しまして、３億9,708万6,000円の実績となりました。指定管理料は計画に対し実績が1,450万8,000円の増となっておりますが、コロナ禍において減収となった利用料金収入想定額分を指定管理料として増額したためでございます。なお、その他収入も3,565万円の減となっておりますが、その他収入に含まれるプログラム教材費やリネンの料金は、収入に比例し支出も減少することから、指定管理料の増額対象とはしておりません。また、その他収入につきまして、年度計画額が提案額を上回っておりますが、これは提案時に自主事業としていた一部事業を、市と協議の上、主催事業に変更したことに伴う増でございます。

続きまして、「イ　支出」を御覧ください。まず人件費でございますが、年度計画と実績の差異は51万円の減となっております。主な要因といたしましては、雇用手配の都合から４月の職員配置が計画よりも１名少なかったことによるものでございます。また、提案と年度計画の差異は115万4,000円の増となっております。主な要因といたしましては、令和２年度より運営部門にてスタッフを１名雇用したため、令和３年度

の計画額が増加したことによるものでございます。

次に、事務費でございますが、年度計画と実績の差異は565万4,000円の減となっております。主な要因といたしましては、利用者数の減少に伴うプログラム材料費やリネン費、教材費の減によるものでございます。

次に、管理費でございますが、年度計画と実績の差異は27万5,000円の減となっております。主な要因としましては、コロナ禍により一部事業が縮小したためとなっております。

次に、委託費でございますが、年度計画と実績の差異は2,945万9,000円の減となっております。主な要因としましては、利用者数の減少に伴う食堂事業への委託費の減によるものでございます。食堂事業への委託費ですが、利用者への食事提供の収入と同額を委託費として支払う契約となっておりますため、施設の利用者数と同様、食堂利用者数も減少したことに伴い委託費が減となっております。

次に、その他事業費でございますが、年度計画と実績との差異は４万8,000円の増額となっております。主な要因としましては、食事の提供がお弁当になったということで、容器の廃棄が増加したことに伴い、ごみステーションを拡大したことによるものでございます。

次に、間接費でございますが、提案と年度計画の差異は100万円の減となっております。主な要因としましては、運営部門でのスタッフの雇用により増額した人件費に予算を移動したためでございます。

最後に、支出の合計でございますが、年度計画の４億3,093万8,000円に対しまして、実績が３億9,508万8,000円で、3,585万円の減となっております。また、提案時に自主事業としていた一部事業を、市と協議の上、主催事業に変更したことに伴い、提案と年度計画の差異は20万円増となっております。

次に、自主事業でございます。３ページに移ります。（２）自主事業収支状況を御覧ください。自主事業は必須事業に含まれないものの、指定管理者が施設の設置目的を果たすために必要であると考えた事業を実施しており、ワンデー農業体験や、バーベキュー広場など、主催事業で取り組む児童を対象とした教育的プログラムを踏まえ、幅広い利用者のニーズに合わせ、ファミリー層や高校生以上の利用者など、より広い年代を対象とした事業を提供しております。実績につきましては、（３）の表にありますとおり、収入が104万5,000円、支出が96万8,000円、７万7,000円の黒字となっております。昨年度と比較して収入、支出がともに減少している理由としましては、令和２年度までは自主事業にしていたものの中で採算が取れていなかったものの一部を主催事業に移動したためでございます。

収支の詳細につきましては、以上でございます。

続きまして、「５　管理運営状況の評価」でございます。まず、（１）管理運営による成果・実績でございますが、評価項目ごとに市の設定した数値目標に対する達成状況を、点線枠内の基準により５段階で評価したものでございます。

１ページ目の３で説明しましたとおり、「施設利用者数（延べ数）」につきましては、数値目標に対する達成率は60.9％となっております。本項目につきまして、年度を通

して新型コロナウイルスの影響が大きく、令和３年度の傾向を予想する基礎がないことから、今回は評価項目として取り扱わないものとしております。

「主催事業の実施数」につきましては、市の設定した数値目標に対する達成率は370.0％であり、指定管理者の設定した数値目標に対する達成率も105.7％で、双方の目標を達成しているため、A評価としております。

「新規開発・改良を行った活動プログラム数」につきましても、市の設定した数値目標に対する達成率が270.0％、指定管理者の設定した数値目標に対する達成率も135.0％で、双方の目標を達成しているため、A評価としております。

次に、（２）市の施設管理経費縮減への寄与でございます。こちらは、選定時の提案額に対する指定管理料実績額の削減率を評価するものでございますが、コロナ禍において安定した施設運営を継続するため、必要最低限の費用として管理運営費の不足額を指定管理料として増額しており、評価することが困難であるため、今回は評価項目として取り扱わないものとしております。

次に、４ページに移りますが、（３）管理運営の履行状況でございます。この項目につきましては、指定管理者の自己評価と市の評価として、それぞれの評価づけをしております。

まず、市の評価の方法につきまして説明します。配付資料の３－４を御覧ください。

市では、月次報告書の確認や面談、現地確認等によるモニタリングを行い、その結果に基づきまして年２回モニタリングレポートを作成しております。このモニタリングレポートには管理運営状況の確認として、それぞれのモニタリング項目ごとに左の欄から順に、市が求める管理運営の基準の内容、指定管理者の提案時のプラス評価事項、基準に対する市の確認方法及び確認結果を記載しております。

少年自然の家につきましては、年２回のモニタリングを実施いたしましたが、確認結果につきましては、３－４の資料の中にあるように、一部、基準を上回る管理運営が行われているという◎の評価をつけている項目がございます。一方、一部、基準や提案どおりに管理運営が行われていないという×の評価をつけている項目もございましたが、この×のついている項目につきましては、改善が行われていることを確認しております。

それでは、資料の３－３に戻っていただきたいと思います。資料３－３を御覧ください。こちらは、評価の点数化をそれぞれの項目で行い、その数値を用いて年度評価シートの大項目ごとに平均値を算出する表となっておりますが、少年自然の家につきましては、平均値を算出いたしますと、各項目の平均値は0.00、－0.25、0.14、0.36、0.00となっております。これにつきましては、最初に説明があったように、資料の４－１の評価の算出の仕方ということを参考にしまして出しております。少年自然の家につきましては、この平均値を表に当てはめますと、上から３番目の「平均値が－0.5を超え0.5未満」に該当し、全てＣ評価ということになり、これが目安に基づき算出した評価となります。

それでは、お手数ですが、資料３－２の４ページにお戻りいただければと思います。（３）管理運営の履行状況でございますが、こちらには指定管理者にも自己評価を記

載していただいております。自己評価と市の評価が異なる項目につきまして、簡単に説明させていただきます。

今から申し上げます項目は、自己評価Ｂに対して、市の評価をＣとした項目でございます。

まず、「１　市民の平等利用の確保」でございます。指定管理者側の評価は、コロナウイルスによるキャンセルや日程変更に迅速に対応したことや、キャンセル料金の特別対応を行ったことを踏まえたものでございます。

次に、「２　施設管理能力」の「（１）管理運営の執行体制」から「（３）従業員の能力向上」までの項目でございます。指定管理者側の評価は、感染症対策として施設内消毒スタッフを４名配置したこと、また、施設利用者に感染者が発生した場合を想定した研修を全職員に対し１回実施したことを踏まえたものでございます。

次に、「２　施設管理能力」の「（４）施設・設備の保守管理」、「（５）備品の管理、清掃、警備等」でございます。指定管理者の側の評価は、点検により施設に大きな問題はなく安定した運営ができていること、また、食堂にパーティションを設置することで１度に利用できる人数を増やしたことを踏まえたものでございます。

次に、「４　施設の効用の発揮」の「（４）利用促進の方策」から「（７）自主事業の効果的な実施」までの項目でございます。指定管理者側の評価は、事業実施の目標数を達成できたことや、家族、大人向けの新しいプログラムを実施したことを踏まえたものでございます。

次に、「５　その他提案事項」の「（１）市内業者の育成」から「（４）施設職員の雇用の安定化への配慮」までの項目でございます。指定管理者側の評価は、毎朝ミーティングを行い、スタッフのやりがいを維持したことを踏まえたものでございます。

以上の項目への取組につきまして、市といたしましては十分に評価に値すると考えておりますが、「１　市民の平等利用の確保」及び「２　施設管理能力」の（１）から（３）につきましては、昨年度の取組と比較して大きな変化がなかったこと、また、「２　施設管理能力」の（４）、（５）につきましては、モニタリング時に基準に達していない項目があったこと、「４　施設の効用の発揮」の（４）から（７）までの項目につきましては、アンケート対応において改善がなかなか進まない部分があったことを踏まえて、Ｃ評価としております。

次に、市の評価をＢとした項目ですが、これはいずれも指定管理者もＢ評価としてございます。

まず、「３　施設の適正な管理」の「（２）リスク管理・緊急時対応」でございます。こちらは、コロナウイルス陽性者が出た際に、素早く隔離、部屋も消毒を行うということで、コロナウイルス陽性による制限をかけずに運営を行っていたこと、 大雨、大雪の予報の際は宿直の職員を増やして対応をしていたことなど、安全面への意識を評価したものでございます。

次に、「４　施設の効用の発揮」の「（１）入退所時間、使用時間、休所日」から「（３）利用者への支援」までの項目でございます。こちらは、受付においてウェブシステムの導入や、外国語に堪能なスタッフを配置することで、多様な利用者に対応をしてい

ること、食事において利用者からのニーズに応え、感染症対策を徹底した上でバイキングを再開したことを評価したものでございます。

以上の項目に関しまして、モニタリング結果ではＣ評価となりましたが、安定した施設運営を継続するため、管理運営の基準、事業計画書等に定める水準を上回る優れた取組であったと考え、Ｂ評価とさせていただきました。

続きまして、一番下の（４）こども未来局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応でございますが、少年自然の家は意見を４ついただいております。

１つ目の「指定管理料は管理運営に係る全般を考慮した増額を継続すること。」でございますが、令和３年度は指定管理料の不足を補うため、２月補正を実施いたしました。

２つ目の「個人情報保護等に関する関係法令等の遵守や備品の管理について徹底すること。」でございますが、個人情報保護の規定を遵守し、自然の家内の備品や機材の総点検や、備品台帳の更新を実施いたしました。

３つ目の「新しいイベントの検討など、高校生以上の利用を促進するための取組みを検討すること。」でございますが、家族を対象としたキャンプサイトにおける野外宿泊体験活動や、近隣の施設と連携した夕食・送迎を組み込んだ大人向けプランを実施いたしました。

４つ目の「感染症対策について引き続き十分に配慮し、事業を実施すること。」でございますが、令和２年度より部屋の人数制限などは継続して実施し、新たにリネンの受取りに台車を活用して接触を避ける取組を行うなど、感染症対策に力を入れ実施いたしました。

管理運営状況の評価につきましては、以上でございます。

続きまして、６ページを御覧ください。「６　利用者ニーズ・満足度等の把握」の（１）指定管理者が行ったアンケート調査でございます。

少年自然の家におきましては、利用開始初日に用紙を直接配布し、最終日に回収する方法でアンケートを行っており、学校、団体、家族合わせて795件の意見をいただいております。

結果の欄の「①アンケート集計結果」の「利用種別アンケート回答数集計結果」を御覧ください。利用種別により回収率には差はございますが、全体としては45.6％の回収率となっており、利用団体の半数程度から御意見を聴取した結果となっております。

次に、その下の「共通項目アンケート集計結果」を御覧ください。食事の内容と味以外の項目の平均点は５点満点中４点以上で、利用者満足度の高い結果となっております。

平均点が３点台となっております食事の内容と味に関してですが、バイキングの稼働期間が短く、昨年同様、使い捨て容器への盛り切りによる食事提供で行っていたことが低評価につながってしまいました。なお、アンケートの意見を踏まえ、メニューの追加や容器の変更などの対策を随時行っております。３月22日からはバイキングも再開いたしました。

次に、「②アンケート（コメント）で寄せられた主な要望と対応」で詳細を記載しております。本項目においては、検討や対応が必要な御意見のみを記載しておりますため、紙面には、掲載外でございますが、好意的な意見として、コロナ禍の対応について職員の努力を評価する意見も複数いただいております。

次に、（２）市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応でございます。ホームページの内容が充実している一方で、多くの情報がいろいろなページに分散されており、探すのが大変であるという意見がございます。本件につきましては、令和４年度中にリニューアルを予定しております。

続きまして、８ページを御覧ください。最後となります。「７　総括」でございます。

まず、（１）指定管理者による自己評価でございますが、Ｂ評価となっております。指定管理者といたしましては、感染症対策ガイドラインに基づいた運営を行い、利用者に安心して利用できる環境を提供できた、また、コロナウイルスの影響による学校利用の日程変更について、教育委員会との連携を行い、適切に対応できた、主催事業についても計画どおり実施することができ、利用者の満足度は高かったという所見でございます。

次に、（２）市による評価でございますが、Ｃ評価となっております。なお、算出した評価はあくまでも目安のため、総合的に判断して異なる評価をすることや、選定評価委員会の御意見を踏まえ評価を修正することも可能となっております。また、（２）市による評価の所見でございますが、ホームページやＳＮＳの利用など検討が必要な部分もありましたが、コロナ禍の情勢に合った対応を継続しており、 学校との調整を一部オンラインで実施するなど、評価できる部分も多く、全体としてはおおむね計画どおり良好な管理運営を行っていると判断しまして、目安のとおり、Ｃ評価といたします。

少年自然の家の指定管理者年度評価シートの説明は以上となります。どうぞよろしくお願いいたします。

○田村会長　ありがとうございました。

ただいまの事務局からの説明につきまして、御質問等ございましたら御発言願います。いかがでしょうか。

末永委員、お願いいたします。

○末永委員　特に質問はございませんが、基本的に市の評価でよろしいかというふうに思います。ただその中でＢ評価やＡ評価なども出てきておりますので、Ｃ評価のままで構わないとは思うんですけれども、何かしら施設のほうに頑張っているよということを伝えられたらいいかなというふうに思いました。少し細かく見ますと、所見のところにもありますけれども、市教育委員会と連携したとか、それから食器をおかわりごとに取り替えているよとか、それから外国人スタッフを入れているよとか、非常にやりにくいことをたくさんやっておりますね。それから、ホームページもリニューアルする、これはこれからの話だと思うんですけれども、それから災害についても長柄町と協力するということとか、非常に多様な対策をいろいろ講じて運営しておりましたので、少し褒めてやっていいかなというふうに思いました。

それから、資料３－５の終わりから２枚目でしょうか、2021年の収支予算の支出を見ますと、多いのはグローバルキャンプとバーベキュー広場ですね。これは収入も多いんですけれども、今、バーベキュー、キャンプ等、流行っておりますので、この辺をしっかりやっているという証拠だなというふうに思いましたので、この辺も評価できるところかなと。

それから、資料３－５の19ページの真ん中辺、（１）備品の調達・管理方法で、飛び跳ね等により劣化が早いベッドについては用材を入れて補修をすると。それからクライミングフォールのホールドを重点的に洗浄、補修等整備をしていると。劣化が激しいログハウス用寝具を中心にほつれ修理や更新を行うということが書いてありますね。非常に細かい改革を行っておりますので、大変いい運営をしているのではないかなというふうに思いました。

○田村会長　ありがとうございます。外でキャンプとかはコロナ禍だからこそ人が集まってきているかなというところに、一生懸命、コロナ禍でいつもどおり予算の方が対応されているというところと、それ以上の努力というところも非常に見られるというところで、Ｃながらも、もしかしたらＢに近い評価だったのかなというふうに思います。ありがとうございます。

ほかに、江波戸委員のほうからございますでしょうか。お願いいたします。

○江波戸委員　管理運営状況の評価で、施設利用者数、主催事業の実施数、新規開発・改良を行った活動プログラム、すごい数値でＡ評価になっているのでとてもすごいなと思いました。それから、３－２の６ページですね、アンケートで寄せられた主な要望と対応についてですが、利用者からの要望に対してしっかりと対応をされているので、これも評価につながるのではないかと思いました。末永委員からもありましたが、Ｃ評価よりもちょっと上でいいのかなと思いました。

以上でございます。

○田村会長　ありがとうございます。おおむねいい形で良好な管理運営が行われているというような御意見だったかなというふうに思います。

福澤委員のほうから、財務諸表に関する御意見等ございましたらお願いいたします。

○福澤委員　本件につきましても、添付いただいた財務資料を拝見しましたけれども、特段問題視すべき事項は見当たりませんでしたので御報告させていただきます。

あと１点、質問ということなんですけれども、御説明いただいた収支状況の３ページの「５　管理運営状況の評価」の中の「主催事業の実施数」で、市の評価はＡというふうになっておりまして、御説明の中で、私うまく聞き取れなかったんですけれども、運営主体との間で自主事業について一部、何か扱いを変えたみたいなご説明があったと思うんですけれども、その件とこの「主催事業の実施数」、特に気になったのが、目標達成率が370％になっていて、普通に考えると、このコロナの御時世で計画したのが370％になるのって、ちょっと説明がないと見ているほうも分かりづらいかなと。その御説明が、すみません、途中あったのかもしれませんが、ちょっとここをもう一度詳細に御説明いただいてもよろしいでしょうか。

○石田健全育成課長

「主催事業の実施数」ということで370％、すごく数値が高いですけれども、当初から主催事業の実施目標値というのが本当に妥当なのかというところで、我々も、これは変更をしたほうがよいと考えます。プログラム数はどんどん増えています。いろいろな事業も拡大しています。ただ目標値だけの設定は当初と変わらないので、元が同じ目標値だといろいろな事業が増えて、パーセントだけがどんどん上がっていく。このパーセントを指標にしてしまうと、常に評価がＡになってしまうということになります。今、委員から御意見があったように、この数値については、我々も、変えなくてはいけないと思うところです。主催事業から変更するというのも、事業者と相談をしながら、できるだけ数値が上がっていくように、主催事業にしたり、自主事業に入れ替えたりしています。主催事業にしますと、市政だよりに宣伝したりとか、公にアピールしたりできますし、それを今度は、内容によっては指定管理者側の事業に入れ替えていくこともできます。そのようなことも相談をしながら、利用者をできるだけ確保しようとしているということになります。

○福澤委員　御説明ありがとうございました。そうですね。適切な目標であるというのはすごく大切なことであるかと思いますので、もし実績に対する目標が低いということであれば、適切な目標を次年度以降考えていただくということは非常によいことかなというふうに思います。

質問させていただいた趣旨としては、自主事業から主催事業に振り替えた、だけれども、目標自体は主催事業が当初の目標のままだったのでこういう数字になっている部分があるのであれば、やっぱり、途中でやり方を変えたのであれば、その目標としていた数値についても、最初は自主事業だった件数をこっちに寄せて比率を出さないと、何か正しい目標と実績という比較にならないと思いますので、もしそういう部分があるのであれば、そこは補正をいただいた上で評価をしていただいたほうが、もし何か御説明いただいた部分とちょっと別の問題があるのであれば、そこは適切に補正していただいてもよいのかなと思ったという趣旨でございます。

○事務局

御説明いただいた主催事業に関しての件ですけれども、目標が70件となっております。自主事業から主催事業に移動させた部分もあるのではないかというお話ですが、移動させた部分も多少あるのですが、主催事業の中で大きな部分を占めているものとして、関係団体の説明会等が多く含まれております。今までコロナ禍の中でなかなか説明会を開催できていなかったことが令和３年度はあったので、そこを開催できた部分が目標達成に関わってきたと担当としては考えております。

以上になります。

○田村会長　いかがでしょうか。評価というところで、パーセンテージを見ていく中で、今後、そういった主催事業、自主事業というところの実施回数などを見直しながら評価基準というのを設けていただくというのも、もう一度見直していただくというのですかね、その部分は確かに必要な部分なのかなとは思います。ただおおむね、すごく御尽力いただいて、しっかりとした運営ができているのかなというところがございま

すし、財務諸表としても収支計算に問題はないということで御意見をいただいておりますので、評価のほうで見ていくということが必要かなというふうに思います。

ほかに御意見ございませんでしょうか。よろしいですか。

それでは、ここまでの議論を踏まえまして、資料３－２の８ページ、年度評価シート、「７（３）委員会の意見」欄について、委員会としての意見を整理させていただきます。

今もありましたとおり、基本的に市による評価のとおり、おおむね良好な管理運営が行われていると認められます。特に、Ａ評価の部分あるいは利用者満足度なんていうのも高い部分もございますので、実際にＣ評価ですがＢに近い評価ではないかなというところで、活動をされている方たち、この事業体のほうに御尽力をいただいているということを伝えていただければと思います。

あと、先ほど財務に関しても収支に関して問題はないということで、その自主事業と主催事業の実際の評価の中で、割合とか意向、そういったことについてもう一度御検討をいただく、見直しを図っていただくということをもう一度御確認いただくことが必要かなというふうに思いますので、今後の市と事業体のほうのやり取りというところで工夫をいただければなというふうに思います。どうぞよろしくお願いいたします。

そのほか、今の意見に関して補正、補足すべきような御意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○田村会長　ありがとうございます。

それでは、ただいまの整理した事項を委員会としての意見とさせていただきます。よろしいですか。

（「異議なし」の声あり）

○田村会長　ありがとうございました。

続きまして、報告事項に入らせていただきます。報告事項について事務局より説明をお願いします。

○宮葉こども企画課長　こども企画課でございます。２点ほど御説明させていただきます。

まずは、本日、委員の皆様に取りまとめていただきました御意見等につきましては、田村会長から市長宛てに委員会の意見として答申をしていただくことになります。この委員会の答申を受けまして、事務局において、委員会の御意見を指定管理者評価シートに記載いたしまして、後日、市のホームページに掲載し、公表をするとともに、指定管理者に通知をいたします。

当委員会の会議録につきましても、同様に、市のホームページにて公表をすること

になります。公表の時期などが決まりましたら、委員の皆様に御報告をさせていただきます。なお、今回の委員会会議録につきましては、後日、委員の皆様に御確認をお願いしたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

２点目ですが、本委員会の委員の皆様方の任期は令和５年３月末日までとなっておりまして、現時点では本日の会議が本任期中の最後の会議となる見込みでございます。改めましてこれまでの会議において慎重審議いただきましたことを厚くお礼申し上げます。

次期の委員につきましては、今後、各団体等を通じまして、推薦、就任の依頼をさせていただきますが、再任も可能となっております。次期委員の委嘱手続などにおきましてお手数をおかけすることもあるかと思いますが、何とぞ御理解をいただければと思います。

今後も委員の皆様方のそれぞれのお立場から、本市の子ども施策の推進に対しまして引き続きの御支援、御協力を賜りますよう、何とぞよろしくお願いいたします。

説明は以上でございます。

○田村会長　ただいまの事務局からの説明につきまして、質問等ございましたら御発言願います。よろしいでしょうか。

本日の議題等は以上でございますが、全体を通して御質問や御意見などございましたら御発言願います。よろしいでしょうか。

それでは、本日の委員会は終了させていただきます。御協力ありがとうございました。

それでは、事務局にお返しします。

○事務局　それでは、以上をもちまして本日の委員会を終了させていただきます。長時間にわたり、活発な御審議を賜りまして、誠にありがとうございました。気をつけてお帰りください。